

「就学への支援の在り方」 チェックリスト

早期からの積極的で計画的な相談と、就学後までの継続した支援の実施

(1) 子どもと保護者への支援

ア 発達相談

<input type="checkbox"/> 療育活動を通して、子どもの望ましい発達を目指した指導をする。	
<input type="checkbox"/> 保護者の気持ちを受け止めながら、子どもへの適切ななかかわり方を伝える。	
<input type="checkbox"/> 相談にかかわる支援計画を作成し、保護者の心情を踏まえて、就学についての情報を提供したり、想定される子どもの変容や将来の姿などを伝えたりする。	
<input type="checkbox"/> 支援計画を活用して、関係機関と連携して計画的で継続的な支援ができるようにする。	

イ 学校参観

<input type="checkbox"/> 年間を通して計画的に実施するとともに、保護者の希望にこたえて随時対応できるようにする。	
--	--

(2) 学校や園への支援

ア 巡回相談

<input type="checkbox"/> 子どもの行動のとらえ方や具体的ななかかわり方についての助言をする。	
<input type="checkbox"/> 子どもの実態や支援の内容に応じて訪問の仕方を工夫する。(例：数日間続けて訪問する、定期的・継続的に訪問するなど)	
<input type="checkbox"/> 就学の前後では、教育委員会や保健・福祉の機関と協力して、保護者、学校や園などの職員を交えた話し合いをもつ。その際に、個別の教育支援計画や総合教育センターで公開している「すこやかサポートファイル」などを活用できるとよい。	

子どもが在籍する学校や園の支援体制の充実

ア 保護者との連携の在り方の支援

<input type="checkbox"/> 保護者と信頼関係を築くことの大切さや、保護者が話し合いに参加することの意義を学校や園の職員に説明して理解を得る。	
<input type="checkbox"/> 保護者が「すこやかサポートファイル」を活用したりケース会議に参加したりすることで、関係機関の一貫した支援が受けやすくなることを学校や園の職員に説明して理解を得る。	

イ 研修会等への講師派遣

<input type="checkbox"/> 学校や園の要請に応じて、指導上の課題の解決や校内支援体制の充実、個別の教育支援計画の策定と活用などの研修会に講師を派遣できるように、校内の人的資源を整理しておく。	
--	--

ウ ケース会議への支援

<input type="checkbox"/> 学校や園が、保護者や関係者を交えたケース会議を開催できるよう、会議の持ち方や対象児への支援方法などの専門的な支援をする。	
---	--

エ 個別の教育支援計画の策定、活用への支援

<input type="checkbox"/> 様式や記入例を紹介して、指導に生かすことはもちろん、引き継ぎなどにも活用できることを伝える。	
<input type="checkbox"/> 学校や園が状況に応じた支援や情報提供を行えるように、個別の教育支援計画の策定と活用を支援する。	

オ 情報提供、地域への啓発

<input type="checkbox"/> 広報紙やWebページで、自校のセンター的機能や特別支援教育について情報提供をする。	
<input type="checkbox"/> 自校で行う障害の理解や支援の在り方についての研修会を、地域の学校や園の教職員、関係機関の職員、保護者などにも公開する。	
<input type="checkbox"/> 地域の教育委員会を訪問して、センター的機能の取組について周知を図る。	

教育・医療・保健・福祉等の関係機関のネットワークづくりと子どもに関する情報を共有するためのシステムづくり

<input type="checkbox"/> 地域の療育のネットワーク会議に参加して、各機関が連携した支援体制づくりを進める。	
<input type="checkbox"/> 早期から支援が受けられるように、地域の保健センターなどと定期的に話し合いをもち、情報交換をする。	
<input type="checkbox"/> 各機関の連携を効果的に行うために「すこやかサポートファイル」などを活用する。	